

香川県で2例目の高病原性鳥インフルエンザ発生！

香川県の採卵鶏農場で、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が確認されました。

高病原性鳥インフルエンザウイルスはすでに国内広範囲に持ち込まれていることが考えられ、リスクが非常に高まっています。発生防止対策を再点検し徹底して下さい。

【発生農場の概要】

- ・所在地：香川県東かがわ市
- ・飼養状況：採卵鶏 約4.8万羽規模

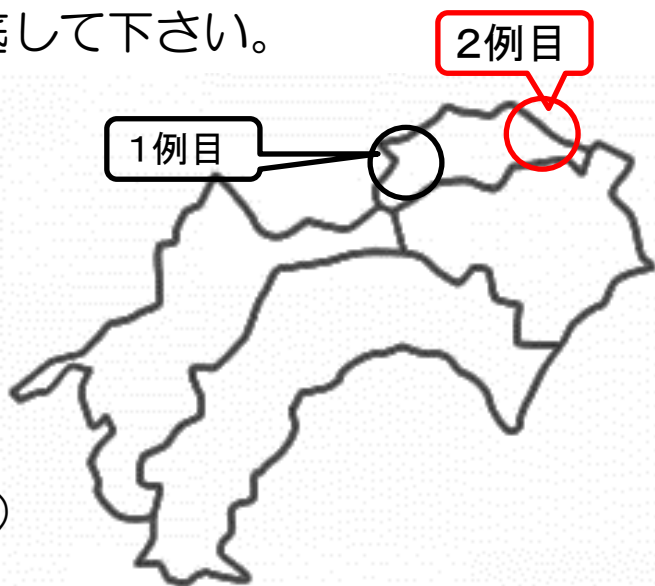
【経緯】

(11月7日)

- ・鳥インフルエンザ簡易検査陽性

(11月8日)

- ・遺伝子検査で疑似患畜確認(H5亜型)



◆鳥インフルエンザウイルスは、感染した渡り鳥(死体や糞)などと接触した人、物、水、野生動物等により鶏舎内へ運び込まれると考えられます。

毎日の健康観察！ 早期発見、早期通報！

防鳥(柵ミ対策)

網目2cm(柵ミは、太い金網1.3cm)角以下のネットやビニールシートで侵入を防止、破損箇所の点検、補修！



飲用水対策

水道水以外の飲み水は消毒を徹底！



人・車両対策

- ・出入り口でウイルス遮断！消毒徹底！
- ・家きん舎入出時の手指の消毒！
- ・家きん舎専用の作業靴、作業着の着用！

野生動物侵入防止対策

- ・侵入経路遮断！
- ・家きん舎やタンク周辺に餌となる誘因物を置かない！



特定症状

- ・**同一の家きん舎内で1日の死亡率が過去21日間平均の2倍以上**
- ・鳥インフルエンザの検査でウイルス抗原及び抗体確認
- ・その他(5羽以上がまとまって死亡、鶏冠、肉垂チアノーゼ、沈うつ、産卵率低下等)